

福田 雅樹
法学研究科・教授

[研究]

AIネットワーク化の進展をめぐる法と政策に関する課題の研究について、単著論文3篇を公表したとともに、学会等の研究会における報告3件、シンポジウムにおける基調報告1件及び招待講演1件、国際会議のラウンドテーブルにおける報告1件並びに法学研究科・高等司法研究科主催のランチミーティングにおける報告1件に登壇した。このほか、ネットメディアのインタビュー記事1件に対応した。

なお、上記のほか、電気通信事業者の電気通信設備相互間の接続に関する制度の研究について、単著論文1篇を既に出稿しており、令和元年中に公表される予定である。

[教育]

法学研究科の「総合演習(立法学)」、法学部の「演習」、「特別講義(立法学)」及び「法政基礎セミナー」並びに全学共通教育科目の「法の世界」を担当したほか、高等司法研究科の「特殊講義C(高度情報通信社会における知的財産戦略論)」及び法学研究科の「総合演習(高度情報通信社会における知的財産戦略論)」(オムニバス科目。全15回のうち3回を担当。)を分担した。

[管理運営]

法学研究科附属法政実務連携センター長を務め、同センターの管理・運営に取り組んだ。その一環として、シンポジウム「AIネットワーク時代に向けた法・政策の在り方」(法学研究科・高等司法研究科主催)の企画・運営の全般において中心的な役割を担ったほか、国際会議「AI技術文明時代の人間像」(理化学研究所革新知能統合研究センター人工知能倫理・社会チーム主催)を法学研究科附属法政実務連携センターとして後援し、企画・運営の全般において中心的な役割を担った。また、「国家公務員ガイダンス―内閣人事局特別講演会―」に関し、その企画・運営の全般において中心的な役割を担った。

このほか、情報系学部構想WGの構成員を務めた。

[社会貢献]

情報通信学会編集委員会副委員長、同学会AIネットワーク法・政策研究会主査、同学会情報通信経済法学研究会幹事、総務省情報通信政策研究所特別研究員、同研究所情報通信法学研究会構成員、同研究所AIネットワーク社会推進会議構成員及び理化学研究所客員主管研究員を務めた。シンポ「AIネットワーク時代に向けた法・政策の在り方」及び国際会議「AI技術文明時代の人間像」の企画・運営等において中心的な役割を担った。シンポにおける基調報告及び招待講演各1件、国際会議のラウンドテーブルの司会及び報告各1件、セミナーにおける特別基調講演1件に登壇した。

ネットメディアのインタビュー記事1件、新聞等の取材2件等に対応した。